



ネットワーク天井マイク

クイックスタートガイド

本書について

- 本書には、本製品の使用および管理に関する説明が含まれています。以下に記載されている写真、図表、画像、およびその他すべての情報は、説明および解説のみを目的としています。
- 本ドキュメントに記載されている情報は、ファームウェアのアップデートやその他の理由により、予告なく変更される場合があります。本ドキュメントの最新版は、Hikvision のウェブサイト (<https://www.hikvision.com>) でご確認ください。別段の合意がない限り、Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd. またはその関連会社（以下「Hikvision」といいます）は、明示的または黙示的を問わず、いかなる保証も行いません。
- 本ドキュメントのご利用にあたっては、本製品のサポートに関する訓練を受けた専門家の指導および支援を受けてください。

本製品について

本製品のアフターサービスサポートは、購入された国または地域でのみご利用いただけます。

知的財産権に関する承認

- Hikvision は、本書に記載された製品に組み込まれた技術に関連する著作権および/または特許を所有しており、これには第三者から取得したライセンスが含まれる場合があります。
- 本文書の一部（テキスト、画像、グラフィックなどを含む）は、Hikvision に帰属します。書面による許可なく、本文書のいかなる部分も、その全部または一部を、いかなる手段によっても抜粋、複製、翻訳、または改変することはできません。
- **HIKVISION** およびその他の Hikvision の商標およびロゴは、各管轄区域における Hikvision の所有物です。
- その他、記載されている商標およびロゴは、それぞれの所有者に帰属します。

法的免責事項

- 適用される法律で許容される最大限の範囲において、本書および本書に記載された製品（そのハードウェア、ソフトウェア、ファームウェアを含む）は、「現状有姿」かつ「すべての欠陥およびエラーを含む」状態で提供されます。HIKVISION は、商品性、満足のいく品質、または特定の目的への適合性を含むがこれらに限定されない、明示的または黙示的な保証を一切行いません。本製品の使用は、お客様ご自身の責任において行われるものとします。いかなる場合においても、HIKVISIONは、特別損害、結果的損害、付随的損害、または

間接損害（事業利益の損失、事業の中断、データの損失などを含む）、システムの破損、または文書の喪失を含むがこれらに限定されない間接損害について、契約違反、不法行為（過失を含む）、製造物責任、またはその他の理由に基づくか否かを問わず、本製品の使用に関連して生じた場合であっても、HIKVISIONがそのような損害または損失の可能性について通知を受けていた場合であっても、一切の責任を負いません。

- お客様は、インターネットの性質上、固有のセキュリティリスクが存在することを認識し、サイバー攻撃、ハッカー攻撃、ウイルス感染、またはその他のインターネットセキュリティリスクに起因する異常動作、プライバシーの漏洩、その他の損害について、一切の責任を負いません。ただし、必要に応じて、HIKVISIONは適時に技術サポートを提供します。
- お客様は、本製品をすべての適用法令に従って使用することに同意し、その使用が適用法令に準拠していることを確保する責任はお客様のみが負うものとします。特に、お客様は、パブリシティ権、知的財産権、データ保護およびその他のプライバシー権を含むがこれらに限定されない、第三者の権利を侵害しない方法で本製品を使用する責任を負います。お客様は、大量破壊兵器の開発または製造、化学兵器または生物兵器の開発または製造、核爆発物または安全でない核燃料サイクルに関連するいかなる活動、あるいは人権侵害を支援する活動。
- 本規約と適用される法令との間に矛盾が生じた場合、後者が優先する。

© 杭州海康視界デジタル技術有限公司。無断転載・複製を禁じます。

規制情報

これらの条項は、対応するマークまたは情報が記載された製品にのみ適用されます。

FCC 情報

注：本機器は、FCC 規則第 15 部の規定に基づき、クラス A デジタル機器の制限に準拠していることが試験により確認されています。これらの制限は、本機器が商業環境で動作する際に、有害な干渉から合理的な保護を提供するように設計されています。本機器は、無線周波エネルギーを発生、使用、および放射するものであり、取扱説明書に従って設置および使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。住宅地で本機器を使用すると、有害な干渉を引き起こす可能性があります。その場合、ユーザーは自己負担で干渉を解消する必要があります。

適合責任者が明示的に承認していない変更や改造を行うと、本機器を操作するユーザーの権限が無効になる可能性があることにご注意ください。

本装置は、FCC 規則のパート 15 に準拠しています。動作には、以下の 2 つの条件が適用されます。

- (1) 本機器は有害な干渉を引き起こしてはなりません。
- (2) 本機器は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信するあらゆる干渉を受け入れなければならない。

EU/英国適合性宣言



本製品および（該当する場合）付属品には「CE」マークが表示されており、指令 2014/30/EU (EMCD) および指令

2011/65/EU (RoHS) に準拠しています。

注：入力電圧が 50～1000 VAC または 75～1500 VDC の製品は指令 2014/35/EU (LVD) に準拠しており、その他の製品は指令 2001/95/EC (GPSD) に準拠しています。詳細については、各電源の仕様情報をご確認ください。

EU適合宣言の全文は、以下のインターネット

アドレス：

<https://www.hikvision.com/en/support/compliance/declaration-of-conformity>。



本製品および（該当する場合）付属品には「UKCA」マークが表示されており、したがって以下の指令に準拠しています：2016年電磁両立性規則、2016年電気機器（安全）規則、ならびに

警告：本製品はクラスA製品です。家庭環境において、本製品は電波干渉を引き起こす可能性があります。その場合、ユーザーは適切な措置を講じる必要があります。

警告：本製品はクラスA製品です。家庭環境において、本製品は電波干渉を引き起こす可能性があります。その場合、ユーザーは適切な措置を講じる必要があります。



指令 2012/19/EU（WEEE指令）：このマークが付いた製品は、欧州連合（EU）域内において、分別されていない一般廃棄物として廃棄することはできません。適切なリサイクルのため、本製品は購入時に地元の販売店へ返却するか、同等の新品機器を購入する際にお引き取りいただくか、指定の回収拠点で処分してください。詳細については、www.recyclethis.info をご覧ください。

同等の新しい機器を購入する際に、お近くの販売店に返却するか、指定の回収場所に廃棄してください。詳細については、www.recyclethis.info をご覧ください。

2013年電気電子機器廃棄物規則（WEEE Regulations 2013）に基づき：この記号が付いた製品は、英国において分別されていない一般廃棄物として処分することはできません。適切にリサイクルするため、本製品を

同等の新品機器を購入する際は、地元の販売店に引き取ってもらうか、指定の回収場所に廃棄してください。詳細については、www.recyclethis.info をご覧ください。



規則（EU）2023/1542（バッテリー規則）：本製品にはバッテリーが含まれており、規則（EU）

2023/1542に準拠しています。欧州連合（EU）域内では、このバッテリーを一般廃棄物として分別せずに廃棄することはできません。バッテリーに関する詳細情報は、製品ドキュメントをご参照ください。バッテリーにはこの記号が表示されており、カドミウム（Cd）または鉛（Pb）を示す文字が含まれている場合があります。適切にリサイクルのため、バッテリーは販売店または指定の回収拠点へ返却してください。詳細については、www.recyclethis.info。

「電池および蓄電池（市場投入）規則」に基づき

2008年および2009年使用済み電池・蓄電池規則：本製品には、英国において一般廃棄物として分別せずに廃棄できない電池が含まれています。電池に関する詳細情報は、製品付属の文書をご確認ください。電池にはこの記号が表示されており、カドミウム（Cd）、鉛（Pb）、または水銀（Hg）を示す文字が併記されている場合があります。適切にリサイクルするため、電池は販売店または指定の回収場所に返却してください。詳細については

情報は、www.recyclethis.info をご覧ください。

カナダ産業省 ICES-003 準拠

本装置は、CAN ICES-003 (A) / NMB-003 (A) 規格の要件を満たしています。

カナダ産業省 ICES-003 準拠

この装置は、CAN ICES-003 (A) / NMB-003 (A) 規格の要件を満たしています。

KC

A 級機器：本機器は、家庭用（A 級）電磁適合機器であり、主に家庭での使用を目的としており、すべての地域で使用することができます。

安全に関する情報

ご使用前に、すべての安全情報をよくお読みください。

- 本製品をご使用の際は、国および地域の電気安全規制を厳守してください。
- 安全超低電圧（SELV）で動作する機器：電源は、IEC に基づく限定電源または PS2 要件を満たしている必要があります。

IEC 60950-1 または IEC 62368-1 規格。

- 電源プラグおよびコンセントによってのみ電源のオン/オフを行う機器の場合、コンセントは機器の近くに設置し、容易にアクセスできるものとする。
- 再起動のリスクを回避するため、本機器は UPS と組み合わせて設置してください。
- 海拔 2000 メートル以上の高度でも正常に動作する電源アダプタを使用してください。
- バッテリーを火や高温のオープンに投入したり、機械的に押しつぶしたり切断したりしないでください。爆発の原因となる恐れがあります。
- 爆発や可燃性の液体・ガスの漏出の原因となるため、バッテリーを極端に高温の環境に放置しないでください。

液体やガスの漏出を引き起こす恐れがあります。

- 爆発や可燃性液体・ガスの漏出の原因となるため、バッテリーを極端に低い気圧にさらさないでください。
- 使用済みの電池は、指示に従って処分してください。



- 「」のステッカーが貼られている機器、または 、以下の注意事項にご注意ください：

注意：高温になる部分があります！触れないでください。部品を取り扱う際に指を火傷する恐れがあります。電源を切ってから30分待ってから、部品を取り扱ってください。

このステッカーは、表示された箇所が高温になる可能性があり、注意を払わずに触れてはならないことを示すものです。このステッカーが貼られている機器は、立ち入り制限区域への設置を目的としており、その区域へのアクセスは、サービス担当者、またはその区域に適用される制限の理由および講じるべき予防措置について指導を受けたユーザーのみが許可されます。

- 業務用機器は、子供が立ち入りそうな場所に設置しないでください。
- 本機器を壁や天井に設置する必要がある場合は、「クイックスタートガイド」の指示に従って設置してください。怪我を防ぐため、設置説明書に従って本機器を怪我を防ぐため、設置説明書に従って本機を床や壁にしっかりと固定してください。

- 補助ライト付きデバイス（詳細はデータシートを参照）の場合：本製品からは、危険を伴う可能性のある光放射が放出されます。
動作中の光源を直視しないでください。目に害を及ぼすおそれがあります。
本装置の組み立て、設置、または保守を行う際は、適切な保護メガネを着用するか、ライトを点灯させないでください。
- 「+」および「-」の記号が付いたバッテリーの場合、「+」は直流を使用または発生させる装置の正極を示し、「-」は直流を使用または発生させる装置のマイナス端子を示します。
- 素地部分（インレットの金属接点など）には触れないでください。また、電源を切った後も電気が残っている可能性があるため、少なくとも 5 分間は待ってください。
本体の電源を切った後も、電気が残っている可能性があるため、むき出しの部品（インレットの金属接点など）には触れないでください。
- 点灯したろうそくなどの裸火を本機の上に置かないでください。
- 本機を不安定な場所に置かないでください。本機が落下し、重傷や死亡事故につながるおそれがあります。
- 本機器を自分で配線する必要がある場合は、機器に表示されている電氣的仕様に従って、電源供給用の適切な電線を選択してください。
標準的なワイヤーストリッパーを使用して、所定の位置で被覆を剥がしてください。重大な事故を防ぐため、被覆を剥がす長さは適切にし、導体を露出させないでください。
- 本製品の配線、設置、または分解を行う前に、電源が切断されていることを確認してください。
- 本機器から煙、異臭、異音がした場合は、直ちに電源を切り、電源ケーブルを抜いて、サービスセンターにご連絡ください。

目次

第 1 章 製品紹介	1
1.1 製品の特長.....	1
1.2 外観.....	2
1.3 インターフェース.....	3
1.4 使用シーン.....	4
第2章 設置	5
2.1 設置の前に	5
2.2 リフティングロープの取り付け	5
2.3 水平ポールへの取り付け	7
2.4 天井埋め込み式取り付け	11
2.5 ペンダント取り付け	12
第3章 起動とアクセス	14

第1章 製品紹介

1.1 製品の特長

ネットワーク天井マイクの製品仕様は以下の通りです：

- 音響増幅の集音範囲は3m、ビデオ会議の集音範囲は5mです。
- 8つの集音エリアを備えており、エリアの調整や優先順位の設定が可能で、確実な集音が保証されます
- 48 kHz/24ビットの高サンプリングレートに対応し、よりリアルな音質を提供します
- インテリジェントなノイズ低減アルゴリズムに対応し、環境内の様々な突発的なノイズ干渉を効果的に解消します
- AEC、AFC、AGC、EQ調整などの音声処理アルゴリズムに対応し、ローカル増幅やリモート会議などをサポートします。
- AES67 国際標準伝送プロトコルに対応（今後のバージョンでは AES67 サードパーティ互換性をサポート予定）、ネットワークオーディオシステムの低遅延かつ高同期の伝送を効果的に確保
- オーディオアシスタントツールによるデバイスの起動、ネットワーク設定、ルーティング設定、パラメータ設定、およびその他の関連操作をサポート
- 1 チャンネル LINE IN/2 チャンネル LINE OUT アナログインターフェースをサポートしており、アナログオーディオシステムで使用可能。
- POE ネットワークケーブルによる電源供給およびオーディオ伝送に対応しており、設置や配線がより便利になります

注：

機能はモデルによって異なります。詳細は実際のデバイスをご確認ください。

1.2 外観

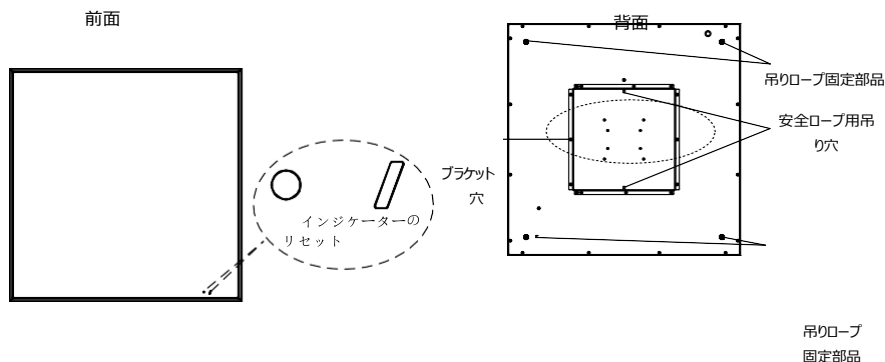


図 1-1 外観

- RESET : RESET を約 5 秒間押し続けると、デバイスが再起動し、工場出荷時のデフォルト設定に戻ります。
- インジケータ :

Table 1-1 インジケータ

インジケータの状態	状態の説明
消灯	デバイスの電源が入っていません。プログラムが起動していません。電源アダプターを交換し、停電がないか確認することをお勧めします。
点滅（白色）	デバイスの電源が入り、初期化中です。
白点灯	デバイスは正常に動作しています。
白く点滅（10回）	デバイスの認識中です（システム内に複数のデバイスがある場合は、クライアントで「 デバイスを特定 」をクリックしてください）。
赤色点滅	デバイスの障害。
赤色点灯	デバイスはミュートモードになっています。つまり、ピックアップ機能が無効になっています。

注：

外観はモデルによって異なります。詳細は実際のデバイスをご確認ください。

1.3 インターフェース

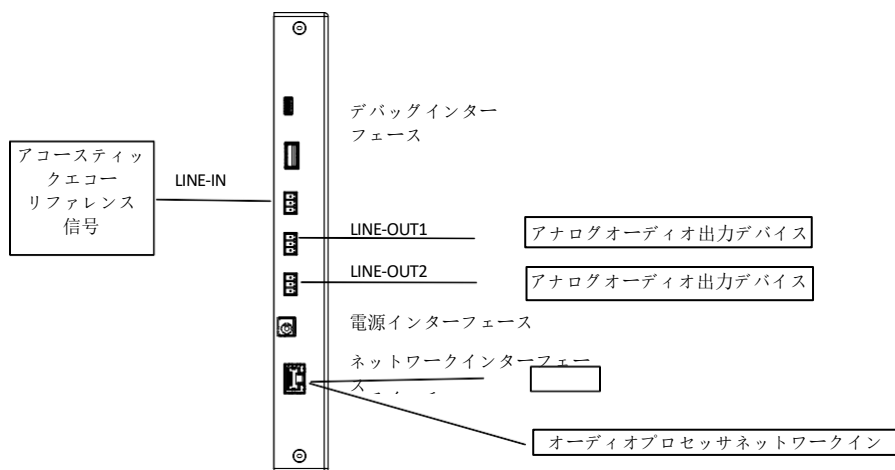


図1-2 インターフェース

- **デバッグインターフェース**：専門的なデバッグ専用です。
- **USBインターフェース**：USBフラッシュドライブに接続してデータを記録したり、専門的なデバッグに使用したりできます。
- **LINE-IN**：アナログオーディオシステムと併用する場合、アナログオーディオ出力デバイスへの接続が可能で、そのデバイスの音響エコーキャンセレーション用基準信号入力として機能します。最大1 VRMSのオーディオ信号入力に対応しています。
- **LINE-OUT1 および LINE-OUT2**：アナログオーディオシステムで使用する場合、アナログオーディオ出力デバイスに接続できます。最大 780 VRMS のオーディオ信号出力をサポートしています。
- **電源インターフェース**：別途購入が必要な電源アダプタ（12 V DC、2 A、Ø2 mm 丸型ポート）に接続できます。
- **ネットワークインターフェース**：PoE 電源入力およびネットワーク通信に使用します。スイッチまたはオーディオプロセッサのネットワークインターフェースに接続できます。

注：外観は機種によって異なります。詳細は実際の端末をご確認ください。

1.4 設置環境

本デバイスは、会議室、研修室、教室など、さまざまな屋内環境に適しています。屋内のレイアウト変更の影響を受けません。複数の設置方法に対応しています。

第2章 設置

2.1 設置前に

- 設置前に、取り付け壁の厚さが十分であり、本機および付属品の総重量の少なくとも4倍の荷重に耐えられることを確認してください。
- 壁面取り付けには、付属のアクセサリー1を使用するか、壁面取り付け用ブラケット2をご購入ください。
- 本デバイスは、100 mm × 100 mm の VESA 取り付け穴に対応しています。以下の設置方法に対応しています：吊りロープ取り付け、ロープを使用した水平ボール取り付け、および天井埋め込み取り付け。ペンダント取り付け用のペンダントブラケットも別途購入可能です。お客様の具体的な設置要件に従って、本デバイスを取り付けてください。

2.2 吊りロープ取り付け

本装置は、吊りロープ取り付け部品を使用して天井に取り付けることができます。この設置方法は、吊り天井のない天井に適用されます。

1. 吊りロープ取り付け部品のバタフライナットを緩め、ナットを取り外します。

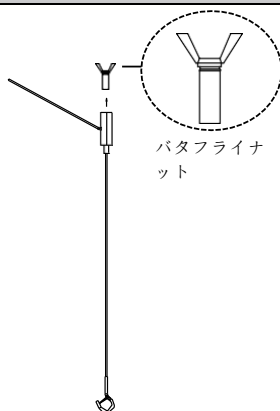


図2-1 バタフライナットの取り外し

2. (オプション) 天井に吊り天井が設置されている場合は、吊り天井を取り外してください。
3. 設置用ステッカーを天井に貼り付けます。設置用ステッカーの端にある4つの黒い円に合わせて4箇所（直径 10 mm、深さ 50 mm）の穴を開け、その穴に拡張ボルトを挿入します。

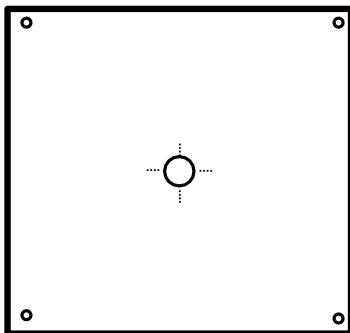


図 2-2 設置用ステッカーの貼り付けと穴あけ

4. 4つの吊りロープ取り付け部品のワイヤーロックを、拡張ボルトにねじ込んで固定します。装置の設置高さに合わせてスチールケーブルを張り、適切な長さに調整します。スチールケーブルの長さは20～30mm程度に留め、余分な部分は切り落とすことをお勧めします。

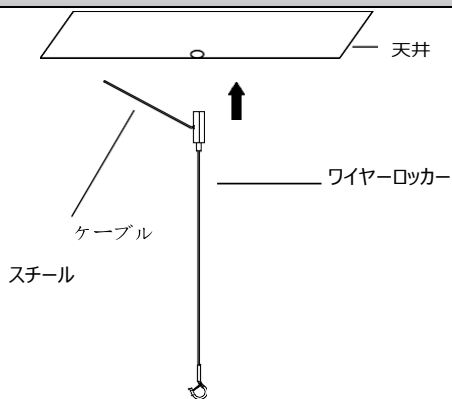


図2-3 ワイヤーロッカーの固定

5. 本体を固定し、4 本の吊りロープ取り付け部品を、本体背面の吊りロープ固定部品に通します。

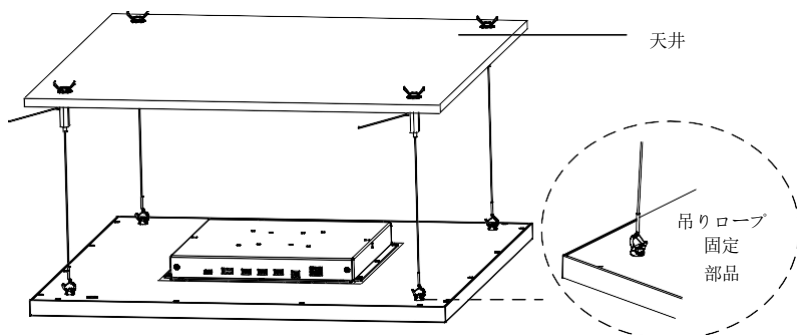


図 2-4 デバイスと吊りロープの固定

6. 「[1.3 インターフェース](#)」を参照し、デバイスの電源アダプタ、ネットワークケーブル、およびその他のインターフェースを必要に応じて接続してください。

2.3 水平ポールへの取り付け

本デバイスは、水平ポールブラケットと吊りロープ取り付け部品を使用して天井に取り付けることができます。この設置方法は、以下の状況に適用されます。

吊り天井のある天井：吊り天井のサイズは 600 mm × 600 mm または 600 mm × 1200 mm です。

1. 吊り天井を取り外してください。
2. 取り付け用ステッカーを天井に貼り付けます。取り付け用ステッカーの5つの黒い丸印に合わせて、5か所に穴（直径10 mm、深さ50 mm）を開けます。

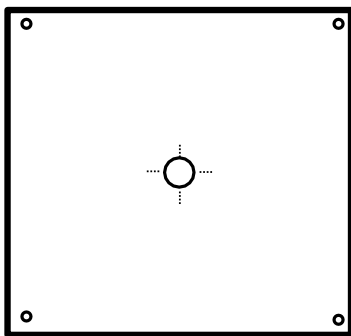


図2-5 設置用ステッカーの貼り付けと穴あけ

3. 吊り天井を天井に再取り付けします。装置の設置要件に従い、他の吊り天井を取り外してください。
4. 2つのブラケットを吊り天井の上にあるグリッドに配置し、天井の端にある穴をブラケットの穴に合わせます。

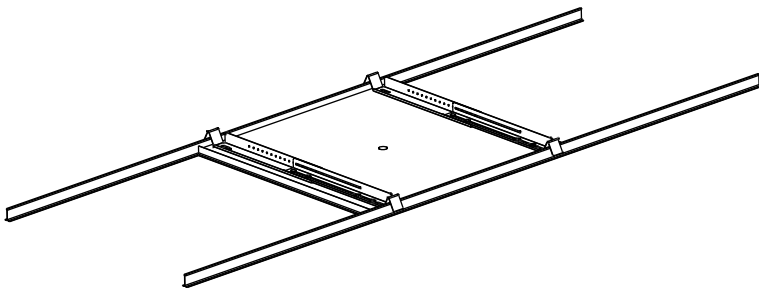


図 2-6 水平ボールブラケットと吊りロープ取り付け部品の固定

5. リフティングロープ取り付け部品のバタフライナットを緩め、ナットを取り外します。

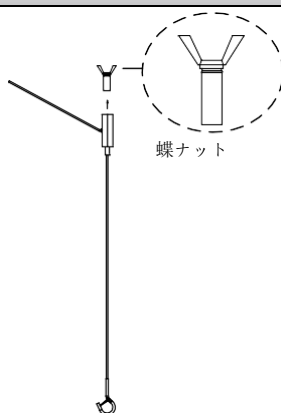


図 2-7 バタフライナットの取り外し

6. 4 個のバタフライナットを 2 個の水平ポールブラケットにそれぞれねじ込み、ワイヤーロッカーをバタフライナットに締め付けます。

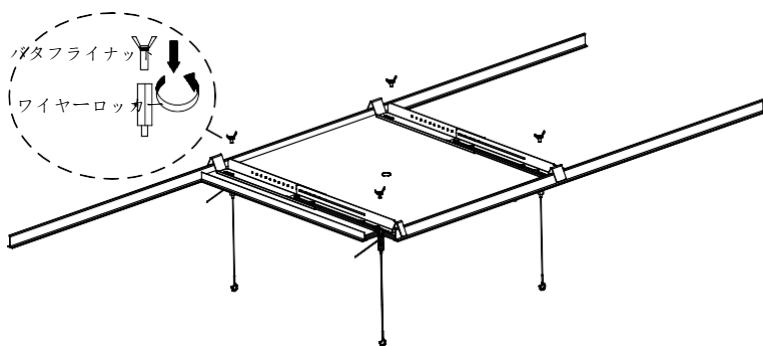


図2-8 水平ポールブラケットとワイヤーロッカーの固定

7. 装置と4つの吊りロープ取り付け部品を、装置背面の吊りロープ固定部品に通して固定します。装置の設置高さに合わせてスチールケーブルを張り、適切な長さに調整します。スチールケーブルの長さは20～30mmに保つことを推奨し、余分な部分は切り落としてください。

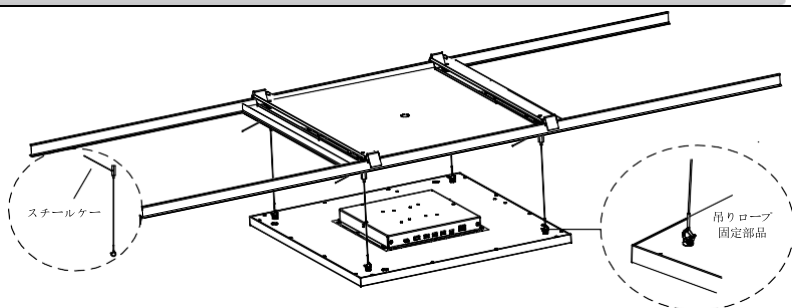


図 2-9 固定装置と吊りロープ

8. 2 本の安全ロープのフックの一方の端を、装置の背面カバーにある安全ロープ取り付け穴に固定し、もう一方の端のフックを取り付け壁に最も近いポールに固定します。ワイヤーロッカーを介して 2 本の安全ロープの長さを調整し、安全ロープが張った状態になるようにします。

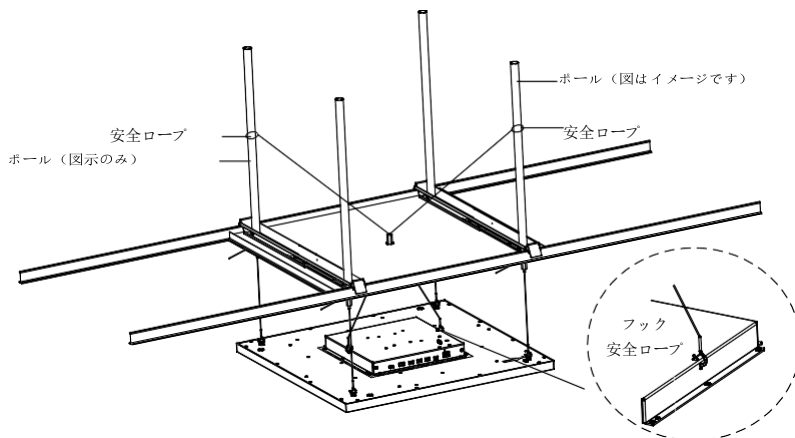


図2-10 安全ロープの取り付け

注：

安全のため、安全ロープはしっかりと張ってください。

9. 必要に応じて、デバイスの電源アダプタ、ネットワークケーブル、およびその他のインターフェースを接続するには、「[1.3 インターフェース](#)」を参照してください。

2.4 天井埋め込み設置

本デバイスは、天井グリッドに直接取り付けことができます。この設置方法は、以下の状況に適用されます：

吊り天井のある天井：吊り天井のサイズは 600 mm × 600 mm または 600 mm × 1200 mm です。

1. 600 mm × 600 mm または 600 mm × 1200 mm の吊り天井を取り外します。
2. 本装置を天井グリッドに設置します。

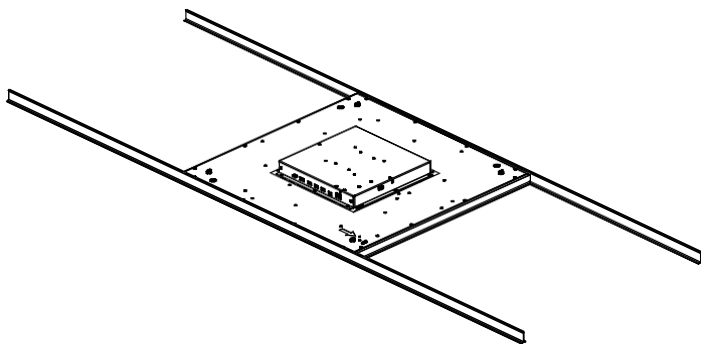


図2-11 本体の設置

3. 2本の安全ロープのフックの一方の端を、装置の背面カバーにある安全ロープ取り付け穴に固定し、もう一方の端のフックを取り付け壁に最も近い支柱に固定してください。ワイヤーロックを介して2本の安全ロープの長さを調整し、安全ロープがしっかりと張られた状態になるようにしてください。

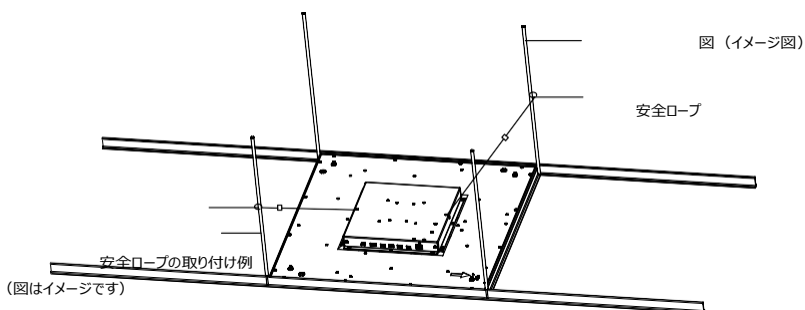


図2-12 安全ロープの取り付け

注：

安全のため、安全ロープはしっかりと張ってください。

4. 必要に応じて、デバイスの電源アダプター、ネットワークケーブル、およびその他のインターフェースを接続するには、**「1.3 インターフェース」**を参照してください。

2.5 ペンダントの取り付け

本装置の設置には、ペンダント取付ブラケットをご購入いただけます。この設置方法は、以下の2つの状況に適用されます：

- 吊り天井のない天井。
 - 吊り天井のある天井。
1. （オプション）天井に吊り天井が設置されている場合は、吊り天井を取り外す必要があります。
 2. ブラケットの穴に合わせて天井面に4つのネジ穴を開け、金属製の拡張スリーブを穴に挿入します。

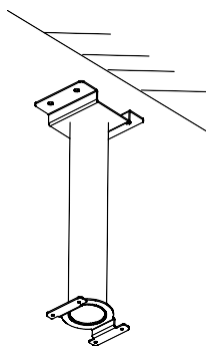


図 2-13 穴あけ

3. ブラケットを4つのナットで天井の上部に固定します。

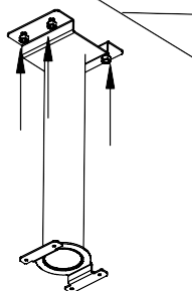


図2-14 ブラケットの固定

4. 4つのナットを使用して、ブラケットを天井の上部に固定します。

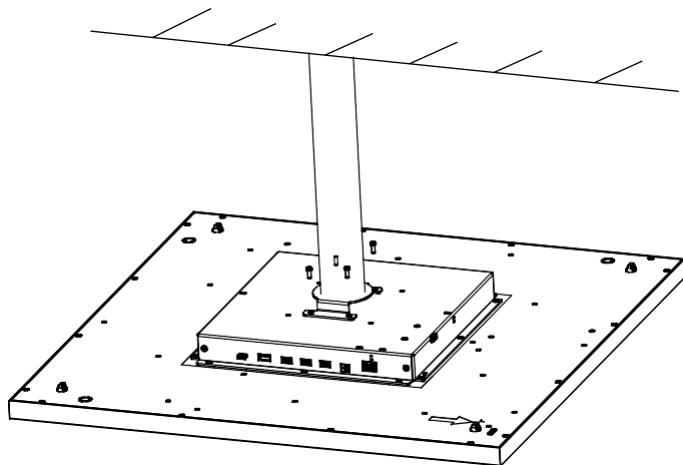


図 2-15 デバイスの固定

5. 「**1.3 インターフェース**」を参照し、デバイスの電源アダプタ、ネットワークケーブル、および必要に応じてその他のインターフェースを接続してください。

第 3 章 アクティベートとアクセス

QR コードをスキャンして、「Activate and Access」を入手してください。Wi-Fi が利用できない場合、モバイルデータ通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。





遠くを見据え、さらに先へ